

きみが診察室からでてきて歩く姿をみて、「ああ、よくなかったんだな」と分かりました。

その時のための心構えを、ふたりで話しして対策してたつもりやったけど、やっぱり現実におこるショックはあまりに大きくて、診察室からでてきたきみは、打ちひしがれたような顔をしてました。

「だめやった...トイレいってくる」

今にも溢れそうなのに、精一杯泣くのを我慢して、しぼりだすように言葉にして伝えてくれたこと、ぼくは一生わすれない。

やなこと思い出させてたらごめん。

ひとりで会計を待つあいだ、現実を受け入れることに苦労した。防弾チョッキやと思ってた心構えは、ぺらっぺらの布の服やった。でもそれより、いちばん大切なきみが苦しんでいる方がしんどいから、気持ちはきみをなんとかする、なんとしても支える、という方に向いた。

一瞬、ほんの一瞬、きみが自殺してないか心配した。普段明るいからおもいつきで死にそうな気がしてしまった。

夜はいままで食事制限あって食べれなかった寿司食べ行ったな。あの時、お腹すいてた？おれがお腹すいたやろうと思って食べに行ってくれたん？食べなやってられんかったから行ったん？

あの夜にさ、家帰っていろいろ話してくれたやんか？そこではじめてその日先生に言われたことや、トイレで泣きながらお母さんに電話していたこと聞いて、ようやく少しだけきみの気持ちを知ることができた。

あんだけずっと食べたいって言ってた寿司、味した？おれ、おれ、味したのよ。美味しかったのよ。きみがこんなに苦しんでる横で、おれ、味わってたのよ。まぐるもト口も、味したのよ。

優しいから分かんないことがあるよね。きみ言わないし。ありがとうね。でも、こんな時にまで、気をつかわなくていいからね。ぼくはきみが楽しい時に笑う、悲しい時に泣く、そのそばにいたいんだから。

昨日も今日も、きっと明日も救われてるのはぼく。

犬にも救われたよね。全身でおかえりしてくれてね。何かがあったのを、分かってんのか分かってないのか、そばにいてくれてね。

分かんないからいいこともこれまたたくさんあるよね。

きみが寝てからじゃないと安心して寝れなくなったのよね。あの日もきみ寝れないのかなって心配してたけど、寝てたよね。笑

疲れてか、昼までね。風邪引いても熱でもおなかいっぱい食べれるし、寝れるとこ、素敵よ。

ひとまず、おつかれさま、ありがとう。

これからどうするかは、ゆっくり考えよう。お金のことは心配いらないし、家事も全部やるし、病院にもよろこんで一緒に通うし、一緒に悩ませてほしい。

でもきっと、ぼくには分かってあげられない。分かってあげたくても。

きみの本当の気持ちはきみにしか分からない。だったらぼくはどうするのか。

きみが気持ちを整理するために、間違っただ感情にならないようにするために、ぼくに、じゃなくてもいいんだけど、誰かに泣き言を言えるように支える、そばにいる。そんなことしかできない。

ぼくきみと迎える朝がすごく好き、なのね。これなんか考えたの。そしたらね、新しいのよ。毎日新しいの。結婚して9年かな。ほぼ毎日ずっと一緒にいるけど、新しいのよ。それと、安心をくれるの。安心って、土台なのね。ぼくの土台を毎日つくってくれて、だからその上でへらへら笑ってられるのよね。
やから毎朝、新しい土台つくってくれてるのよ、きみ。雨の日も風の日も。土台ないと大変よ～なにやっても足元おぼつかないよ。働くよね～ほんと。大仕事、まいどありがとう。

え、海行きたい？行こう行こう！
買い物？行こう行こう！
美味しいコーヒー？行こう行こう！
きれいなものがみたい？なにそれ、行こう！
今から行こう。
運転すっから、後ろで犬と寝ててー！

忘れられる時間を作ろう。
何かに夢中になったり、別のことに気持ちをもって行って。そしたら少しは心休まるだろうし、少し整理されるかもしれないし。ほっといたら、どうしても考えてしまうもんな。きみまじめだもん。

悩みがなさそうって、よく言われるてるやん。
きみは「迷惑かけたくない、心配させたくない」から元気に振る舞うやん。それ、おれにも思っていない？でもそれできれば思わんといてほしいのね。迷惑とか心配をかけられる、かけあえるきみとぼくがいいなあ。
でもあれだな...言いたくても言えない、言いにくい空気をおれがだしてるところあるかもな。いやあり...ますよね...
少しずつでも、言ってくれたらうれしいなあ。おれに言いたくないこともあると思うから、お母さんだったり、お友達のあの子だったりあの子だったり、きみに頼ってもらえることを喜んでくれる人が周りにはいるやん。わっ、顔浮かべてみるだけでも、ただただ心強い！しかしほんといい仲間たちだな。みんながいるから、大丈夫だ！なにがあっても！これから、なにがあっても、だ！

ぼくはとても幸せです。これ以上の幸せを、経験したことがないからわからない。きみと犬さえいりゃ、これから何があたって楽しいに決まってる。
いつもありがとう。
もう、ひとりのしあわせじゃ意味ないから。
きみがしあわせじゃないとしあわせじゃないから。
生きててよかった。
これからも、そばにさせてください。
同じ朝を、迎えさせてください。